

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 観光課
 担当名: インバウンド担当
 内線: 3953
 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B45	外国人受入環境整備促進事業			一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費	
事業期間	平成26年度～ 令和3年度	根拠法令	根拠法令なし			宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
						分野施策	040835	観光の振興	
1 事業の概要 平成32年までに外国人観光客を本県へ年間100万人誘致するために、受入体制整備、多言語情報発信、旅行会社への情報提供を行い、外国人観光客受入環境整備を行う。 (1) おもてなし通訳案内士育成事業 事務費の節減による執行残の減額 △5千円 (2) 多言語情報発信事業 契約差金による減額 △585千円 (3) 旅行会社等への情報提供事業 事務費の節減による執行残の減額 △212千円 (4) 観光交流会開催事業 事務費の節減による執行残の減額 △5千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 外国人見学受入体制整備支援 3,000千円 イ おもてなし通訳案内士育成事業 1,570千円 ウ 多言語情報発信事業 3,957千円 エ 旅行会社等への情報提供事業 9,589千円 オ 観光交流会開催事業 2,505千円 (2) 事業計画 ア 外国人見学受入体制整備支援 イ おもてなし通訳案内士育成事業(100人) ウ 多言語情報発信事業 エ 旅行会社等への情報提供事業 オ 観光交流会開催事業(1回) (3) 事業効果 平成32年までに、年間100万人の外国人を埼玉県へ誘客する。 ア 本県を訪れた外国人観光客数 平成27年:28万人→平成31年:80万人 イ おもてなし通訳案内士の数 平成27年度:72人→平成31年度:500人(累計) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 国、他都県、県内市町村、観光関係事業者、県民と連携し、埼玉観光の情報整備を行う。 (5) 補正予算の概要 契約差金及び事務費の節減による執行残の減額					
2 事業主体及び負担区分 (1)～(4)の一部(国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 観光費 観光振興費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入						
決定額	△807	△396						△411	20,621
現計額	21,428	9,109	1,060					11,259	